

平成 27 年 5 月吉日

チーム関係者各位

新潟市ミニバスケットボール連盟

会 長 小澤 勝美

理事長 近藤 秀之

ゾーンディフェンスの禁止について（2）

（指導指針）

青葉の候皆様におかれましてはご清栄の事とお喜び申し上げます。

日頃、新潟市ミニバスケットボール連盟の活動に対し、ご理解とご協力を頂きまして心から感謝申し上げます。

当連盟では新人戦より「ゾーンディフェンスの禁止（1月30日）」を発表いたしました。皆様のご協力もあり、多くのチームから「ゾーンディフェンスの禁止」に対してご理解・ご協力いただきありがとうございました。

1月30日より施行いたしました「ゾーンディフェンスの禁止」について、ではくマンツーマンディフェンスを簡略に定義いたしました。段階を追ってより深い指導をして頂きたく、次ページの項目を指導指針として掲げたいと思っておりますので、よろしくご協力をお願いいたします。

※次ページについては機会を捉え、子どもたちや保護者の皆様にも配布の上、指導に役立てていただきたいと思います。

＜マンツーマンディフェンスとは＞

今回の春季大会ではマンツーマンディフェンスを少なくとも以下の事と捉え、共通理解としていきます。

1. バックコートにボールがあるにも関わらず、最初から制限区域を守るような事をしない。
2. スローインの時は、オフボールプレイヤーにダブルチームをしない。
3. 以下の①～④いずれかをマンツーマンの基本姿勢として指導を行う。
 - ① マイマンとボールマンを目線で追えているか。
 - ② ピストルやボールチェック（ボールやマイマンに手のひらを向けるなど）の行為。
 - ③ ナンバーチェックやコミュニケーション（スイッチやローテーション、2線・3線などの）
 - ④ 直接身体に接触（マンツーマンの的に）している。

【イリーガルディフェンスについて】

今大会でも試合時の罰則規定は特に設けませんが、大会役員、コミッショナー、審判などが、上述の3項目に照らし合わせ、ゾーンディフェンスもしくはゾーンプレスディフェンスかの判断を行い、クォータータイムもしくはハーフタイムに指導を行う場合もあります。指導の結果、継続して明らかに故意なゾーンディフェンス（もしくはゾーンプレスディフェンス）を実行したと判断された場合は上位大会への推薦（大会要項に記載）を行わない場合もございますので予めご了承ください。

また、日本バスケットボール協会及び日本ミニバスケットボール連盟では動画を含む、「ゾーンディフェンスの禁止」について試合時における制度化やルール化を含んだ資料を作成中です。当連盟では随時情報を公開すると共に、制度化、ルール化に関しましては早期の対応を目指してまいりますので大会期間中に情報が公開された時は公開された制度やルールに基づき競技対応しますので皆様のご理解・ご協力を引き続きお願いいたします。

当連盟では「ゾーンディフェンスの禁止」という事を、「バスケットボールとは楽しい」そして「1対1は面白い」という事を頒布する目的で施行しております。実際の対応場面では、学年差など発達段階に応じた柔軟さも必要とは思いますが、上記目的を十分理解され子どもたちへの指導やチーム運営等の面でご協力をお願いいたします。

以上